

## 地方創生の施策推進のために 町と岩手銀行が協定を締結

9月5日、町と岩手銀行（田口幸雄頭取）が地方創生の連携に関する協定を締結しました。締結式は同日、役場4階特別応接室で行われ、田口頭取が「今日の締結はゴールではない。これから地方創生の推進に協力していきます」と、あいさつ。取り組み内容は、農林水産業と商工観光業の振興や安全と安心にまちづくりの推進、出産・子育て支援などに関することです。

なお、同協定は今後、宮古信用金庫と北日本銀行とも同様に締結する予定です。



## 地域復興マッチング結の場 町内企業の経営支援に

9月8日、町と山田町商工会、復興庁が主催した「地域復興マッチング結の場」が町中央公民館で行われました。これは、被災地域企業の経営支援を行うために平成24年から開催されているもので、今回で16回目の開催となります。この日は町内企業8社、支援提携企業など18社が参加。町内企業は、課題について話し合うワークショップを通じ、経営方針の良し悪しや新たなアイデアについてアドバイスを受け、「様々な意見をいただき、とても良い機会となった」と手ごたえを感じていました。

# 3年に一度のお祭りに各地区沸き立つ

## 諏訪神社・霞露岳神社例大祭

夏の終わりを感ずる8月28日、船越地区で諏訪神社（西館 勲宮司）の例大祭が行われました。午前7時から神事が行われ、その後、諏訪神社を出発し、山車がみこしを先導しながら山の内埠頭、浦の浜仮設団地など、船越地区を練り歩きました。浦の浜仮設団地では多くの町民がみこしをお出迎え。この日を待ちわびたかのようにそれぞれの山車が渾身の舞や踊りを披露すると、仮設住民や詰めかけた多くの観覧客は賑わいを見せ、3年に一度の例大祭に船越地区は大いに沸き立ちました。



9月11日、霞露岳神社（西館 勲宮司）の式年祭が行われ、3年ぶりに行われた大漁祈願のお祭りに多くの地区住民、観覧客が押し寄せました。神事後、「ワッセ、ワッセ」の掛け声とともに担ぎ手がみこしを担ぎ、大神楽、虎舞、さんさ踊り、宮町踊り組がそれを盛り立てます。最後は御塩后離が行われ、みこしを担ぎながら海に入ってお清めをしました。その力強い光景は、詰めかけた町民、観覧客を感動の渦に包み、3年に一度訪れた一日は惜しまれながら終わりました。